

ナースのための
くすりの事典
2026

編集

細谷 治

執筆

安野伸浩	渡部多真紀	光永義治
武井優輝	大竹三保	石田耕太

へるす出版

はじめに

『ナースのためのくすりの事典』2026年版が完成しました。2025年は医薬品を取り巻く環境が大きく動いた一年でした。臨床現場では、新型コロナウイルス感染症以降に顕在化した医療提供体制のひずみが依然として続く一方、看護師のタスク・シフト/シェア推進が各所で具体的な制度整備に結びつき、特定行為に係る看護師の研修修了者が年々増加し、薬物療法を担う看護師の役割も確実に変化しています。こうした変化に対応し、看護学生から経験豊富な看護師まで、誰もが現場で迷わず使える情報源を目指して本書を編集してきました。

2025年には、医薬品の安定供給を確保するための国の対策がさらに強化されました。とくに、相次ぐ医薬品供給不足を受けて後発医薬品の品質・ガバナンスに関する見直しが進み、メーカー再編や供給計画の厳格化など、大きな変革が始まっています。また、ドラッグロスについても引き続き活発な議論がなされ、希少疾病や小児領域の開発遅れを解消するため、国際共同治験の迅速化やPMDAの審査体制強化など、制度的な後押しが拡充されました。これらの流れは、看護師が扱う薬の種類や情報量が今後さらに増えていくことを意味しています。

さらに、高額医薬品についても遺伝子治療や細胞治療など、従来の枠組みでは理解しにくい医薬品が次々と登場しました。投与方法や観察事項が複雑化する一方で、患者への説明責任や副作用マネジメントの重要性は一段と高まっています。こうした状況に対応すべく、本書では与薬の基本、患者指導のポイント、副作用の早期発見の視点、注意すべき患者背景など、看護師が知っておくべき要点を整理し、日々のケアに直結する形でまとめています。

本書が、これから看護の道に進む学生の皆さんにとって頼れる学習ツールとなり、そして臨床で働く看護師の皆さんにとって、忙しい現場で「すぐに確認できる1冊」として役立つことを願っています。

2025年12月

細谷 治

ナースのためのくすりの事典 2026

目次

精神科用薬

1

催眠・鎮静薬-----	1
1. バルビツール酸系催眠・鎮静薬-----	1
2. ベンゾジアゼピン系催眠・鎮静薬-----	3
3. ベンゾジアゼピン系睡眠薬-----	5
4. メラトニン受容体作動薬-----	5
5. オレキシン受容体拮抗薬-----	6
6. その他の催眠・鎮静薬-----	6
抗不安薬-----	7
1. ベンゾジアゼピン系抗不安薬-----	8
2. チェノジアゼピン系抗不安薬-----	10
3. その他の抗不安薬-----	10
抗精神病薬-----	11
1. フェノチアジン系製剤-----	11
2. ブチロフェノン系製剤-----	12
3. ベンザミド系抗精神病薬-----	13
4. セロトニン・ドパミン遮断薬(SDA)-----	14
5. 多元受容体作用抗精神病薬(MARTA)-----	17
6. ドパミン受容体部分作動薬(DPA)-----	20
7. その他の抗精神病薬-----	22
抗うつ薬・抗躁薬・精神刺激薬-----	22
1. 抗うつ薬-----	22
1) 三環系抗うつ薬-----	23
2) 四環系抗うつ薬-----	25
3) 選択的セロトニン再取込み阻害薬(SSRI)-----	25
4) セロトニン・ノルアドレナリン再取込み阻害薬(SNRI)-----	27
5) ノルアドレナリン作動性・特異的セロトニン作動性抗うつ薬 (NaSSA)-----	29
6) セロトニン再取込み阻害・セロトニン受容体調節薬(S-RIM)---	29
7) その他の抗うつ薬-----	30

2. 抗躁薬	30
3. 精神刺激薬	30
4. 選択的ノルアドレナリン再取込み阻害薬(精神刺激薬)	33

神経科用薬 34

抗てんかん薬	34
筋弛緩薬	47
1. 中枢性筋弛緩薬	47
2. 末梢性筋弛緩薬	48
1) 麻酔・手術用注射薬	48
2) 悪性高熱症・悪性症候群治療薬	49
抗眩暈薬	50
1. 脳血管拡張薬	50
2. その他の抗眩暈薬	50
パーキンソン病治療薬	50
1. レボドパ含有製剤(L-dopa 製剤)	51
2. モノアミン酸化酵素(MAO-B)阻害薬	54
3. ドパミン受容体刺激薬	55
4. 抗コリン薬	60
5. レストレスレッグス症候群治療薬	60
6. その他のパーキンソン病治療薬	61
自律神経作用薬	63
1. 消化管機能促進薬	63
2. 筋無力症治療薬	64
3. 鎮痙薬, 粘膜分泌抑制薬	65
1) 抗コリン薬	65
2) その他の鎮痙薬, 粘膜分泌抑制薬	66
4. その他の自律神経作用薬	66
脳循環・脳代謝改善薬	71
1. 脳循環改善薬	71
2. 脳代謝改善薬	72
3. その他	73
認知症治療薬	73
1. コリンエステラーゼ阻害薬	73
2. NMDA 受容体拮抗薬	75

3. ヒト化抗ヒト可溶性アミロイド β 凝集体モノクローナル抗体 レカネマブ製剤(遺伝子組換え)-----	75
--	----

解熱・鎮痛・抗炎症薬	77
-------------------	-----------

非麻薬性鎮痛薬-----	77
1. 非麻薬性鎮痛薬-----	77
2. 配合薬-----	79
解熱・鎮痛薬-----	80
1. 非ピリン系解熱・鎮痛薬-----	80
2. ピリン系解熱・鎮痛薬-----	81
3. 合 剤-----	81
1) ピリン系解熱・鎮痛薬-----	81
2) 非ピリン系解熱・鎮痛薬-----	82
片頭痛治療薬-----	82
1. トリプタン系製剤-----	82
2. カルシウム拮抗薬-----	84
3. その他の片頭痛治療薬-----	85
非ステロイド性抗炎症薬-----	86
1. 酸性非ステロイド性抗炎症薬-----	86
1) サリチル酸系製剤-----	86
2) その他の酸性非ステロイド性抗炎症薬-----	87
2. 中性非ステロイド性(コキシブ系)抗炎症薬-----	92
3. 塩基性非ステロイド性抗炎症薬-----	93
4. その他-----	93

抗リウマチ薬	96
---------------	-----------

1. 免疫調節薬-----	96
2. 免疫抑制薬-----	98
3. ヤススキナーゼ阻害薬(JAK 阻害薬)-----	100
4. 生物学的製剤-----	103

循環器用薬	109
--------------	------------

強心薬-----	109
1. ジギタリス製剤-----	109
2. カテコールアミン系薬剤-----	109

3. ホスホジエステラーゼⅢ阻害薬(PDEⅢ阻害薬)-----	112
4. 心房性 Na 利尿ペプチド製剤-----	113
5. HCN チャネル遮断薬-----	114
6. その他の強心薬-----	114
冠血管拡張薬-----	115
1. 亜硝酸薬-----	115
2. 硝酸薬-----	115
3. その他の冠血管拡張薬-----	118
カルシウム拮抗薬-----	119
1. ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬-----	120
2. 非ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬-----	121
3. 持続性カルシウム拮抗薬・HMG-CoA 還元酵素阻害薬-----	123
β 遮断薬-----	123
1. β_1 非選択性 β 遮断薬-----	124
2. β_1 選択性 β 遮断薬-----	125
3. $\alpha_1 \cdot \beta$ 遮断薬-----	127
4. 血管拡張作用を有する β 遮断薬-----	128
抗不整脈薬-----	128
利尿薬-----	138
1. チアジド系利尿薬-----	139
2. ループ利尿薬-----	140
3. カリウム保持性利尿薬-----	141
4. バソプレシン拮抗薬-----	142
5. その他の利尿薬-----	143
降圧薬-----	144
1. 中枢性交感神経抑制薬-----	146
2. α 遮断薬-----	147
3. アンジオテンシン変換酵素阻害薬(ACE 阻害薬)-----	147
4. アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬(ARB)-----	150
5. アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬・利尿薬配合薬-----	151
6. アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬・カルシウム拮抗薬配合薬---	151
7. アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬・カルシウム拮抗薬・利尿薬 配合薬-----	153
8. 血管拡張薬-----	153
9. その他-----	153

末梢血管拡張薬	156
昇圧薬	158
1. カテコールアミン系薬剤	158
2. 交感神経刺激性アミン剤	160
3. その他の昇圧薬	160
肺動脈性肺高血圧症治療薬	160
1. ホスホジエステラーゼ 5 (PDE 5) 阻害薬	160
2. エンドセリン受容体拮抗薬	161
3. 可溶性グアニル酸シクラーゼ刺激薬	163
4. プロスタグランジン I_2 誘導体制剤	163
脂質異常症(高脂血症)用薬	165
1. HMG-CoA 還元酵素阻害薬(スタチン系)	165
2. フィブラート系薬剤	168
3. プロブコール製剤	168
4. 陰イオン交換樹脂製剤	169
5. ヒト抗 PCSK9 モノクローナル抗体製剤	169
6. ミクロソームトリグリセリド転送蛋白質(MTP)阻害薬	170
7. その他の高脂血症用薬	171
8. 配合薬	172
9. ヒト化抗 ANGPTL3 モノクローナル抗体製剤	172
呼吸器用薬	173
呼吸促進薬	173
1. 呼吸刺激薬	173
2. 麻薬拮抗薬	174
気管支拡張薬	174
1. β 刺激薬	174
2. キサンチン系薬剤	177
3. 抗コリン薬	178
気管支喘息治療薬	179
1. 副腎皮質ホルモン吸入薬(吸入ステロイド薬)	179
2. 長時間作用性吸入 β_2 受容体刺激薬・ステロイド吸入薬	181
3. 長時間作用性抗コリン薬・長時間作用性 β_2 受容体刺激薬	181
4. 吸入ステロイド薬・長時間作用性吸入抗コリン薬・ 長時間作用性吸入 β_2 受容体刺激薬	182

5. 分子標的治療薬	188
鎮咳薬	190
去痰薬	192

消化器用薬 194

消化性潰瘍治療薬	194
1. ヒスタミン H_2 受容体拮抗薬	194
2. プロトンポンプ阻害薬	196
3. カリウムイオン競合型アシッドプロトンポンプ阻害薬	198
4. プロスタグランジン製剤	199
5. 選択的ムスカリン受容体拮抗薬	199
6. 胃粘膜局所麻酔薬	199
7. 制酸薬	199
8. 潰瘍病巣保護薬	201
9. 組織修復促進薬	201
10. 粘液産生・分泌促進薬	201
11. 胃粘膜微小循環改善薬	201
12. ヘリコバクター・ピロリ除菌薬	202
13. その他	203
健胃・消化薬	203
胃腸機能調整薬	203
5-HT ₃ (セロトニン)受容体拮抗型制吐薬	205
ニューロキニン1受容体拮抗薬	207
下剤・浣腸剤	207
止痢・整腸薬	215
利胆薬	216
1. 催胆薬	216
2. 排胆薬	217
膵炎治療薬	217
炎症性腸疾患治療薬	219

糖尿病薬 226

インスリン製剤	229
経口血糖降下薬	233
1. スルホニル尿素系血糖降下薬	233

2. ビグアナイド系血糖降下薬	234
3. 速効型インスリン分泌促進薬	235
4. インスリン抵抗性改善薬(チアゾリジン誘導体)	236
5. 食後過血糖改善薬(α グルコシダーゼ阻害薬)	236
6. 選択的 DPP-4(dipeptidyl peptidase-4) 阻害薬	237
7. SGLT2 阻害薬	239
8. ミトコンドリア機能改善薬	241
9. 配合薬	241
インクレチン製剤(GLP-1 アナログ)	241
GIP/GLP-1 受容体作動薬	244
糖尿病性末梢神経障害治療薬	245
高インスリン血性低血糖治療薬	245

ホルモン製剤 246

脳下垂体ホルモン薬	246
蛋白同化ステロイド薬	251
副腎皮質ホルモン薬(ステロイド薬)	251
1. 鉱質コルチコイド	252
2. 糖質コルチコイド	252
1) コルチゾン・ヒドロコルチゾン製剤	254
2) プレドニゾロン製剤	254
3) メチルプレドニゾロン製剤	255
4) トリアムシノロン製剤	256
5) デキサメタゾン製剤	256
6) ベタメタゾン製剤	257
7) 配合薬	257
性ホルモン製剤	258
卵胞ホルモンおよび黄体ホルモン製剤	258
1) 卵胞ホルモン(エストロゲン)製剤	258
2) 黄体ホルモン(プロゲステロン)製剤	260
3) 卵胞・黄体ホルモン配合薬	261
その他のホルモン薬	263
副腎皮質ホルモン合成阻害薬	269

甲状腺疾患用薬 271

甲状腺ホルモン薬	271
抗甲状腺薬	271

腎疾患用薬 273

腎性貧血治療薬	273
1. ヒトエリスロポエチン製剤(遺伝子組換え)	273
2. 持続型エリスロポエチン製剤	273
3. HIF-PH 阻害薬	277
副甲状腺機能亢進症治療薬	280
高リン血症治療薬	281
尿毒症治療薬	284
高カリウム血症治療薬	284
そう痒症治療薬	286
その他の腎疾患用薬	286

眼科用薬 288

1. 緑内障治療薬	288
1) 副交感神経作動薬(縮瞳薬)	288
2) 交感神経作動点眼薬	288
3) β 遮断点眼薬	288
4) β 受容体・ α_1 受容体遮断点眼薬	289
5) プロスタグランジン点眼薬	290
6) Pho キナーゼ阻害点眼薬	291
7) 炭酸脱水酵素阻害点眼薬	291
8) 選択的 EP2 受容体作動薬	291
9) 配合点眼薬	292
10) その他	292
2. 白内障治療点眼薬	292
3. ステロイド点眼薬	292
4. 抗菌点眼薬	294
5. 抗ウイルス点眼薬	295
6. 調節麻痺・散瞳点眼薬	295
7. 抗アレルギー点眼薬	296

8. ドライアイ改善薬	296
9. 非ステロイド性抗炎症薬	297
10. 眼科用 VEGF 阻害薬	297
11. 甲状腺眼症治療用 IGF-1R 阻害薬	298
12. 近視進行抑制点眼薬	299
13. その他の眼科用薬	299
14. ホウ酸・無機塩類配合液	299

耳鼻咽喉科用薬 300

1. 血管収縮点鼻薬	300
2. ステロイド点鼻薬	300
3. 抗菌点鼻・点耳薬	301
4. 抗アレルギー点鼻薬	302
5. 鼓膜穿孔治療薬	302

泌尿器(生殖器)用薬 303

1. 前立腺肥大症治療薬	303
2. 頻尿・過活動性膀胱治療薬	305
3. その他の泌尿器科用薬	307

子宮用薬 308

1. マグネシウム製剤	308
2. β 刺激薬	308

ビタミン製剤 310

ビタミン D 製剤	310
ビタミン B ₁ 製剤	312
ビタミン B ₂ 製剤	312
ビタミン B ₆ 製剤	312
ビタミン B ₁₂ 製剤	313
混合ビタミン B 剤	313
葉 酸	313
パントテン酸製剤	314
ビタミン E 製剤	314
ビタミン K 製剤	314

輸液・電解質製剤・栄養剤 316

輸液用製剤	316
1. 糖質製剤	316
2. 血漿増量剤	317
1) ヒドロキシエチルデンプン含有剤	317
2) デキストラン 40 含有製剤	318
3. 高カロリー輸液用基本液	318
4. 高カロリー輸液用アミノ酸・糖・電解質液	321
5. ダブルバッグ高カロリー輸液用アミノ酸・糖・脂肪・電解質液	321
6. 高カロリー輸液用総合ビタミン・糖・アミノ酸・電解質液	322
7. 高カロリー輸液用糖・電解質・アミノ酸・総合ビタミン・ 微量元素液	326
8. 高カロリー輸液用総合ビタミン剤	329
9. 高カロリー輸液用微量元素製剤	329
10. その他	330
電解質製剤	330
1. 電解質補液製剤	330
2. 補正用電解質製剤	330
栄養剤	337
1. 静注用脂肪乳剤	337
2. アミノ酸製剤	338
3. 末梢静脈栄養用輸液製剤(糖・電解質・アミノ酸配合製剤)	338
4. 病態別アミノ酸製剤	338
5. 浸透圧利尿薬	346

代謝性医薬品 347

カルシトニン製剤	347
ビスホスホネート製剤(骨代謝改善薬)	347
1. 注射剤	347
2. 内服剤	350
1) 第一世代ビスホスホネート製剤	350
2) 第二世代ビスホスホネート製剤	350
選択的エストロゲン受容体モジュレーター(SERM)	353
抗 RANKL モノクローナル抗体	353

ヒト化抗スクレロスチンモノクローナル抗体	355
副甲状腺ホルモン製剤	355
その他の代謝性医薬品	356

造血と血液に作用する薬剤 360

造血薬	360
鉄製剤	360
1) 内服用鉄製剤	360
2) 静注用鉄製剤	361
白血球減少症治療薬	362
1. G-CSF 製剤	
【遺伝子組換えヒト顆粒球コロニー刺激因子(rhG-CSF)】	362
2. 持続型 G-CSF 製剤	365
血小板減少症治療薬	365
止血薬	367
抗血栓薬	369
1. 血小板凝集抑制薬(抗血小板薬)	369
2. ヘパリン製剤と抗ヘパリン製剤	375
1) ヘパリン製剤	375
2) 低分子ヘパリン製剤	377
3) ヘパリノイド	378
4) 抗ヘパリン製剤	379
3. 経口抗凝固薬	379
1) 経口直接第 Xa 因子(活性化血液凝固第 X 因子)阻害薬	379
2) ワルファリン	383
3) トロンビン直接阻害薬	384
4. 血栓溶解薬	385
1) ウロキナーゼ製剤	385
2) 組織性プラスミノゲンアクチベータ(t-PA)製剤	386
5. その他の抗血栓薬	389
その他の造血と血液に作用する薬剤	392

無機質製剤 399

カリウム製剤	399
カルシウム製剤	400

リン製剤-----	401
カルシウム/天然型ビタミン D ₃ /マグネシウム配合剤-----	401

肝疾患治療薬 402

B 型肝炎治療薬-----	402
1. 核酸アナログ製剤-----	402
2. インターフェロン-----	404
C 型肝炎治療薬-----	404
1. 直接作用型抗ウイルス薬-----	404
2. リバビリン製剤-----	405
3. インターフェロン-----	407
その他の肝疾患治療薬-----	407

痛風・高尿酸血症治療薬 412

発作寛解薬-----	412
高尿酸血症治療薬-----	412
1. 尿酸生成抑制薬-----	413
2. 尿酸排泄促進薬-----	414
3. 酸性尿・アシドーシス改善薬-----	415
4. その他-----	415

消炎酵素製剤 416

免疫抑制薬 417

抗がん薬 429

アルキル化薬-----	430
代謝拮抗薬-----	436
1. ピリミジン代謝拮抗薬-----	437
1) フルオロウラシル系薬剤-----	437
2) シトシン系薬剤-----	441
3) 抗がん性抗生物質, シトシン系薬剤合剤-----	443
2. プリン代謝拮抗薬-----	443
3. 葉酸代謝拮抗薬-----	444
4. その他の代謝拮抗薬-----	446

抗がん性抗生物質	448
トポイソメラーゼ阻害薬	453
タキサン系抗がん薬	455
アルカロイド系抗がん薬	459
免疫賦活薬	462
1. インターフェロン	462
2. その他の免疫賦活薬	465
ホルモン系製剤	466
白金(プラチナ)製剤	471
分子標的治療薬	475
その他の抗がん薬	537
血管外漏出治療薬	539
がん悪液質治療薬	540

アレルギー性疾患治療薬

541

抗ヒスタミン薬	541
抗アレルギー薬	541
1. メディエータ遊離抑制薬	542
2. ヒスタミン H_1 受容体拮抗薬	542
3. ヒスタミン H_1 受容体拮抗薬・ α 交感神経刺激薬配合薬	545
4. トロンボキサン A_2 阻害薬	545
1) トロンボキサン A_2 合成酵素阻害薬	545
2) トロンボキサン A_2 受容体拮抗薬	546
5. ロイコトリエン受容体拮抗薬	546
6. Th2 サイトカイン阻害薬	546
7. ヤヌスキナーゼ(JAK) 阻害薬	547
非特異的刺激療法薬	547
その他のアレルギー性疾患治療薬	547

抗菌薬

551

抗生物質	552
1. β ラクタム系抗生物質	552
1) ペニシリン製剤	553
2) セフェム系製剤	555
3) モノバクタム系抗生物質	562

4) β ラクタマーゼ阻害薬配合薬	562
5) カルバペネム系抗生物質	565
6) ペネム系抗生物質	568
2. アミノ配糖体系抗生物質	568
1) 抗結核作用を有するアミノ配糖体系抗生物質	569
2) 抗緑膿菌作用を有するアミノ配糖体系抗生物質	570
3) その他のアミノ配糖体系抗生物質	571
3. マクロライド系抗生物質	571
4. リンコマイシン系抗生物質	574
5. テトラサイクリン系抗生物質	575
6. ホスホマイシン系抗生物質	577
7. その他の抗生物質	577
合成抗菌薬	581
ニューキノロン系製剤	581
抗結核薬	586
その他	590

抗真菌薬 592

深在性真菌症治療薬	592
深在性・表在性真菌症治療薬	596
ニューモシスチス肺炎治療薬	599

抗寄生虫薬 601

抗ウイルス薬 605

インフルエンザ治療薬	605
新型コロナウイルス感染症治療薬	608
抗ヘルペスウイルス薬	610
抗サイトメガロウイルス薬(CMV)	613
抗RSウイルス薬	615
抗RSウイルスヒトモノクローナル抗体製剤	616
その他の抗ウイルス薬	616
HIV 感染症治療薬	617

血漿分画製剤・ワクチン・トキシイド	619
血漿分画製剤-----	619
1. アルブミン製剤-----	619
2. 静注用人免疫グロブリン製剤-----	619
3. 筋注用人免疫グロブリン製剤-----	623
4. 皮下注用人免疫グロブリン製剤-----	623
ワクチン，トキシイド-----	624
その他の生物学的製剤-----	629
麻 薬	631
アヘンアルカロイド系麻薬-----	633
非アルカロイド系麻薬-----	636
皮膚科用薬	646
外用殺菌消毒薬-----	646
副腎皮質ホルモン外用剤(ステロイド外用剤)-----	649
乾癬治療薬-----	650
その他の皮膚科用薬-----	657
歯科・口腔用薬	658
診断用薬	660
1. 肝機能検査薬-----	660
2. 腎機能検査薬-----	660
3. 下垂体機能検査薬-----	661
4. その他の診断用薬-----	661
中毒治療薬	663
1. 薬物吸着薬-----	663
2. 拮抗薬-----	663
1) 有機リン類拮抗薬-----	663
2) 麻薬中毒治療薬-----	663
3) ベンゾジアゼピン受容体拮抗薬-----	663
4) その他の拮抗薬-----	663

3. 解毒薬-----	664
4. アルコール依存症治療薬-----	666
5. その他の中毒治療薬-----	667

漢方薬	669
-----	-----

生活改善薬	673
-------	-----

1. 経口避妊薬(低用量ピル)-----	673
2. 緊急避妊薬-----	675
3. 勃起不全治療薬-----	675
4. 男性型脱毛症用薬-----	676

重大な副作用の症状と処置方法	677
----------------	-----

薬物中毒の症状と処置方法	682
--------------	-----

注射剤血管外漏出の予防・漏出後の処置について	684
------------------------	-----

< Q&A >	685
---------	-----

I. 服用時間

- 「食前」,「食後」,「食間」などの服用時間はいつのことですか？

II. 服薬を忘れたとき

- 薬を飲み忘れた場合, 今からすぐ飲んだほうがよいですか？ それとも, とばしてしまうのですか？ またその場合, 次回に倍飲むのですか？

III. 服薬方法

- 薬を水なしで飲んではいけませんか？ また薬を水以外(お茶, 牛乳, ジュースなど)で飲んでもいいのですか？

IV. 剤形

- 内服薬にはさまざまな剤形があるのですが, それぞれの特徴を教えてください。

V. 薬の保管

- 薬の保管温度の表示で「冷所保存」とは何℃のことですか？
- 薬にも使用期限があるのですか？

VI. 体内動態

- 蛋白結合率とは？
- 生物学的半減期(biological half-life : $T_{1/2}$)とは？

- プロドラッグ (prodrug) とは？
- 代謝，排泄ってどういうことですか？
- 血中濃度測定はどうして必要なのですか？

VII. アレルギー，アナフィラキシー

- 以前使用した抗菌薬をまた使用する場合，ショックやアレルギーの心配はないですか？
- アスピリン喘息とは？

VIII. 坐 剤

- 熱性痙攣の場合，2 種類以上の坐剤を同時に使用してもよいですか？
- ダイアップ坐剤を挿入して 10 分ほどして，坐剤が便の中に出たのですが，もう薬の成分は溶け出している（追加は必要ない）と考えてよいでしょうか？
- 坐剤を使用する際に気をつけることは何でしょうか？

IX. 注射関連

- ポリ塩化ビニル (PVC) 製の容器・器具を使用するときの注意は？
- ポリカーボネイト樹脂製の器具を使用するときの注意は？
- 輸液フィルターはなぜ必要なのですか？
- プラスチックの点滴容器に油性マジックで患者名や医薬品名などを記入してもいいですか？
- 蒸留水を注射するとなぜ溶血が起きるのですか？

X. ワクチン

- インフルエンザワクチンの効果的な接種時期はいつがよいですか？
- インフルエンザ予防接種の回数と接種量を教えてください。
- ニューモバックス[®]NP (23 価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン) 肺炎球菌ワクチンの効果の持続期間は何年ですか？
- 肺炎球菌ワクチンの接種回数は？
- トキソイドとは？
- 抗毒素とは？
- 生ワクチンとはどんなものですか？
- 不活化ワクチンとはどんなものですか？

XI. その他

- ジェネリック医薬品 (generic drug：後発医薬品) とは？
- スイッチ OTC とはどういうことですか？
- バイオシミラーとは？